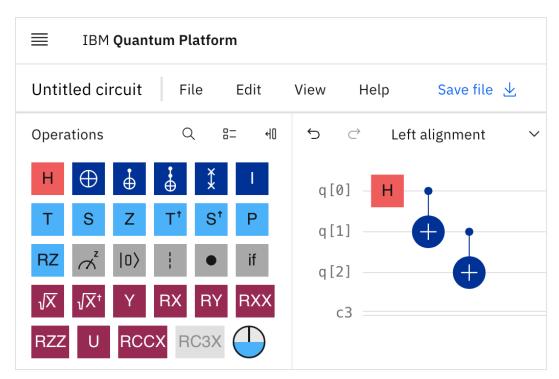
Kawasaki Quantum Summer Camp 2025

量子ゲート基礎 IBM Quantum Composer

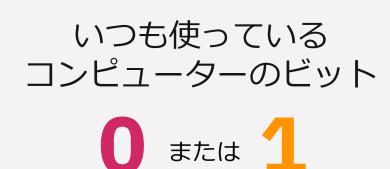
Jul 30, 2025

沼田祈史 Kifumi Numata IBM Quantum









どちらか

量子コンピューターの 量子ビット

) ₂ 1

両方





測定すると表か裏にバシッと決まる

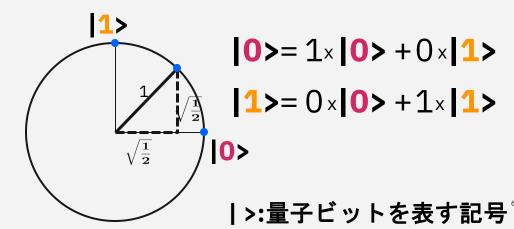
いつも使っている コンピューターのビット

どちらか

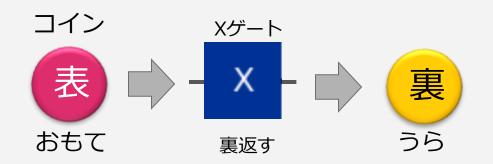
量子コンピューターの 量子ビット

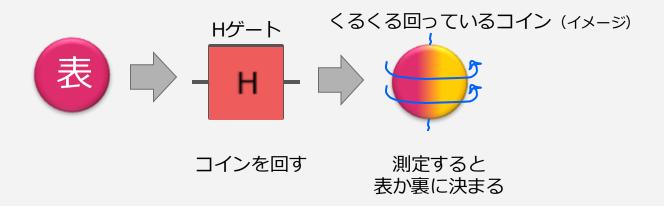
$$\alpha \times |0\rangle + \beta \times |1\rangle$$

0と1の「重ね合わせ」

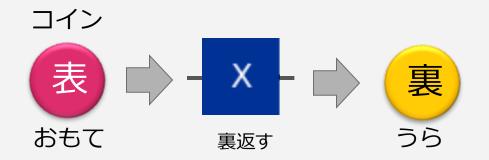


量子コンピューターの計算方法



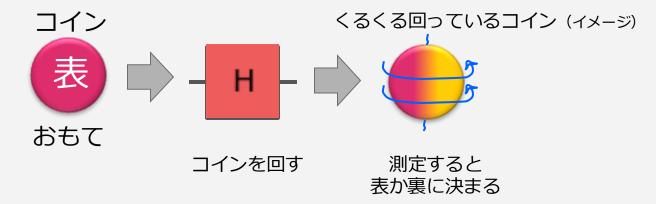


Xゲート



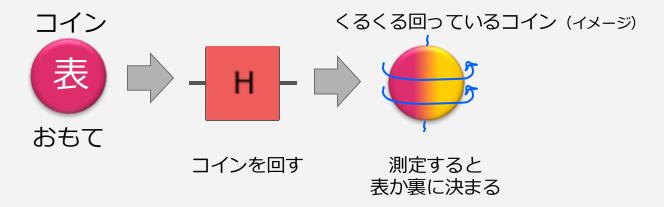


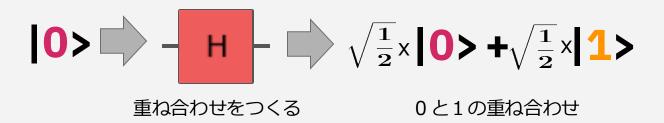
Hゲート



.

Hゲート





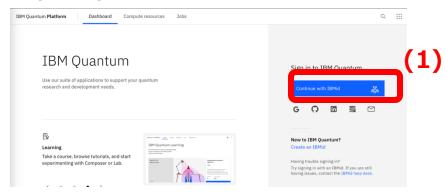
量子コンピューターの計算方法



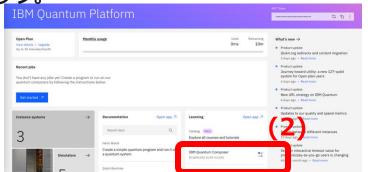
ハンズオン: IBM Quantum Composer

(1) IBM Quantum にログインします。URL:

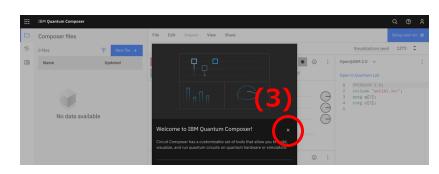
https://quantum.ibm.com/



(2) 中央下の方の「IBM Quantum Composer」を クリック。



(3) ポップアップウィンドウは「x」をクリックして、閉じます。



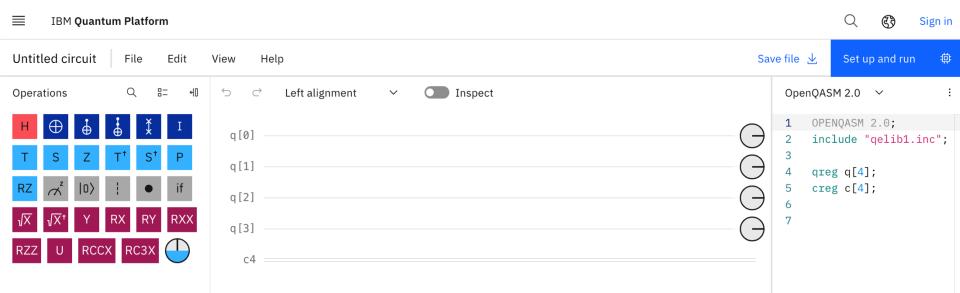
(4) この画面になったら準備完了です。



ハンズオン: IBM Quantum Composer

https://quantum.cloud.ibm.com/composer

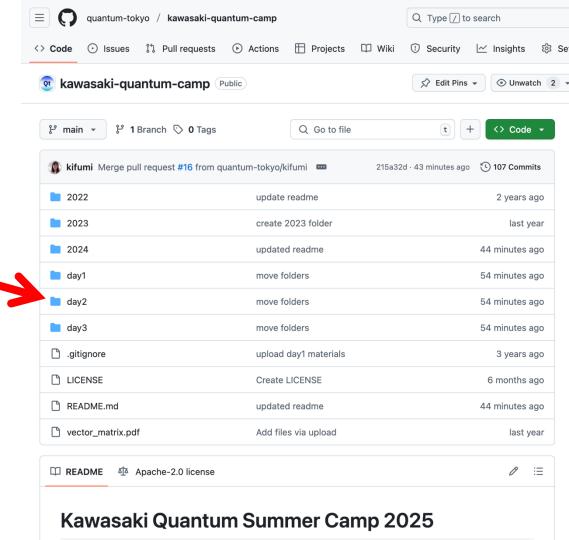
短縮URL: ibm.biz/cmpsr25



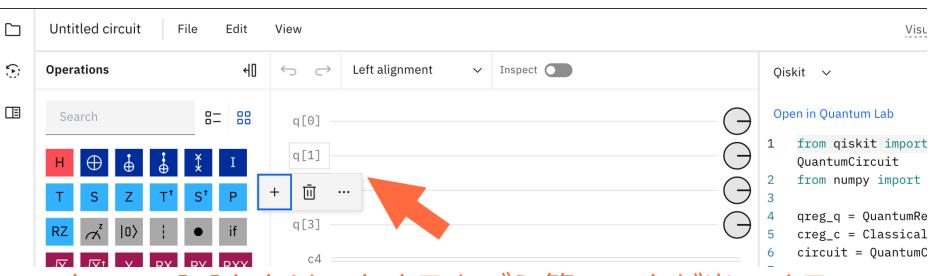
ハンズオンの資料

URL: ibm.biz/kwskgit

「day2」フォルダー



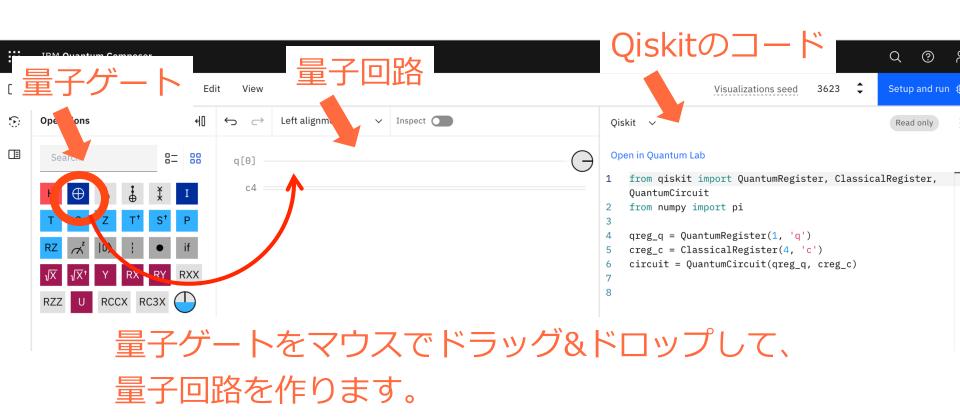
1量子ビット回路



マウスでq[1]をクリックするとゴミ箱マークが出てくるので、 クリックして消します。

q[0]だけにして、1量子ビット回路の準備をします。

1量子ビット回路



右側には、Qiskitのコードが自動生成されます。

1. Xゲート(NOTゲート)

図の回路を作ってみてください。 下に表示される棒グラフの変化を確認しましょう。



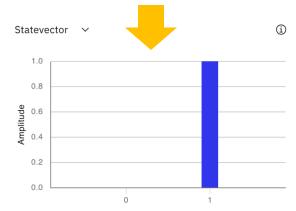




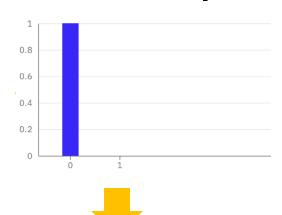
1-3) q[0] + +

左下のグラフは青棒の 「Statevector」表示に してください。





初期状態は 0>



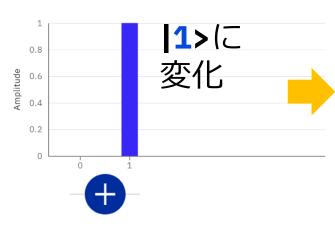
棒グラフ (Statevector 表示) は 量子ビットの状態

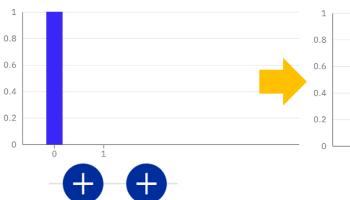
$$\alpha \times |0\rangle + \beta \times |1\rangle$$

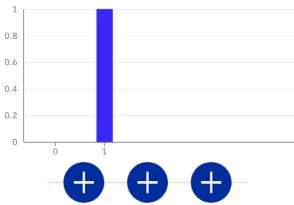
の α, β (確率振幅)です。

$$|0>=1\times|0>+0\times|1>$$

$$|1> = 0 \times |0> + 1 \times |1>$$



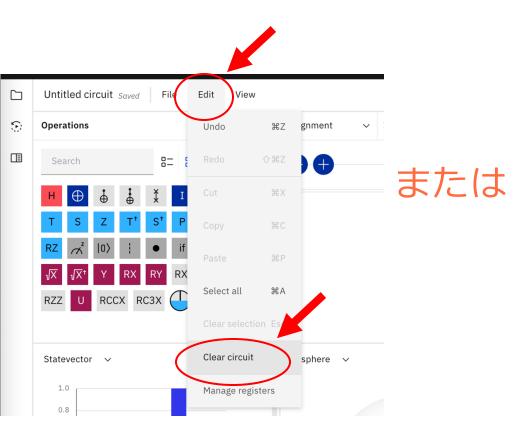




量子コンピューターの計算方法

重ね合わせをつくる

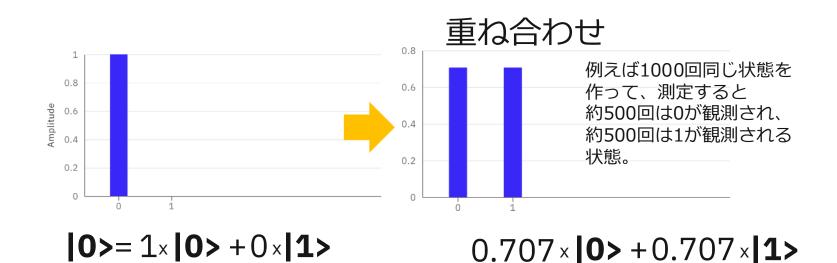
置いたゲートを取り除く



File Edit View Left alignment Inspect (Ē 뀬 \gg ゲートを選んで RC3X 点線で囲み、 ゴミ箱マークを

2. Hゲート

図の回路を作ってみてください。下に表示される棒グラフの変化を確認しましょう。



2. Hゲート

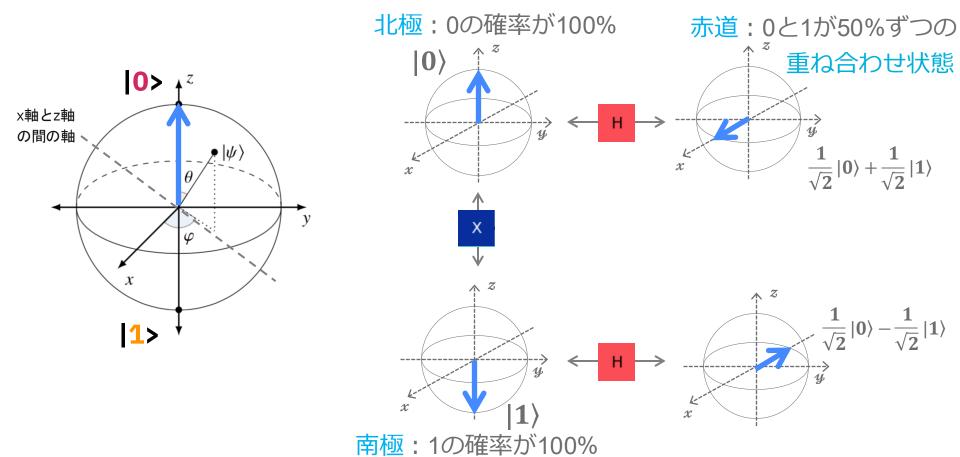
図の回路を作ってみてください。下に表示される棒グラフの変化を確認しましょう。

量子コンピューターの計算方法

$$|0\rangle \leftarrow H \rightarrow \sqrt{\frac{1}{2}}|0\rangle + \sqrt{\frac{1}{2}}|1\rangle$$

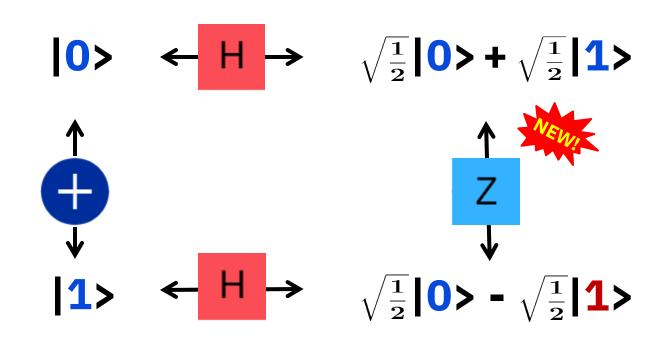
$$|1\rangle \leftarrow H \rightarrow \sqrt{\frac{1}{2}}|0\rangle - \sqrt{\frac{1}{2}}|1\rangle$$

ブロッホ球



量子コンピューターの計算方法





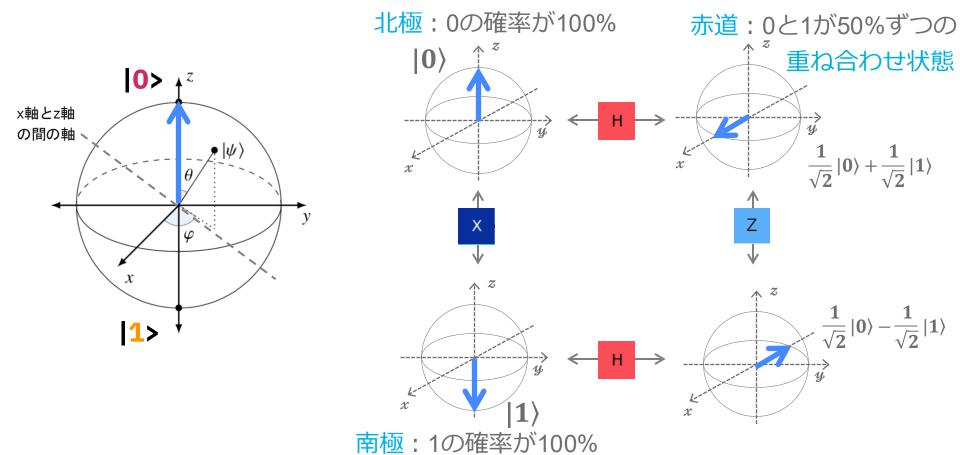
3. Zゲート

図の回路を作ってみてください。下に表示される棒グラフの変化を確認しましょう。

量子コンピューターの計算方法



ブロッホ球



4. 量子重ね合わせ

q[0]をクリックして、さらに「+」マークをクリックして、2量子ビットの回路を 準備します。



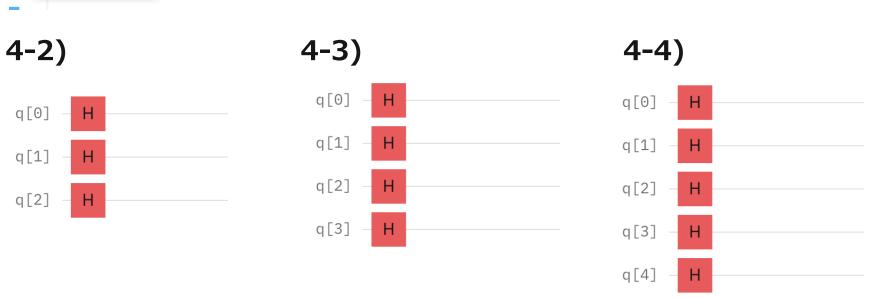
図の回路を作ってみてください。下に表示される棒グラフの変化を確認しましょう。

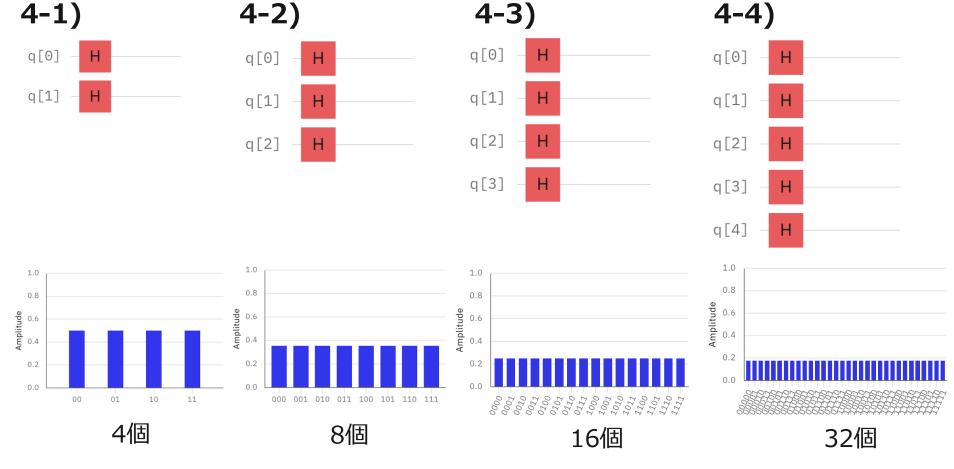
4-1)



さらにq[1]をクリックして、さらに「+」マークをクリックして、3量子ビット、4量子ビット、5量子ビットの時の重ね合わせ状態を確認します。







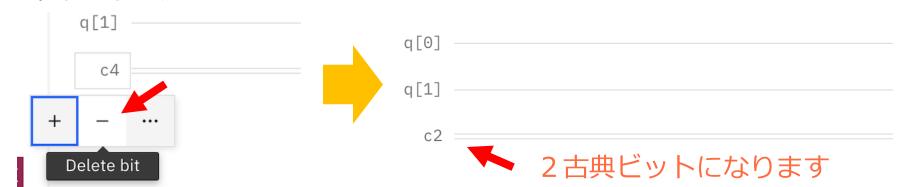
量子ビット数(n)が増えるにつれて、量子状態が倍々に $(2^n$ 個に)増えていくことがわかります。

2量子ビット・2古典ビットの状態を作る

q[0]をクリックして、さらに「ゴミ箱」マークをクリック、を繰り返して、2量子ビットの回路を準備します。



次に、c4をクリックして、「-」マークをクリックするを2回繰り返して、2古典 ビットにします。

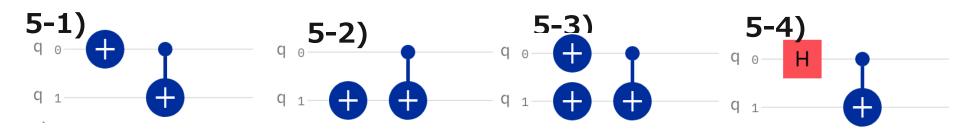


5. CNOTゲート(制御Xゲート)

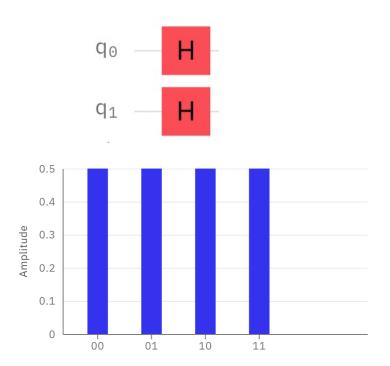
制御ビットが|1>のときのみ、目標ビットを反転(NOT)するゲートです。



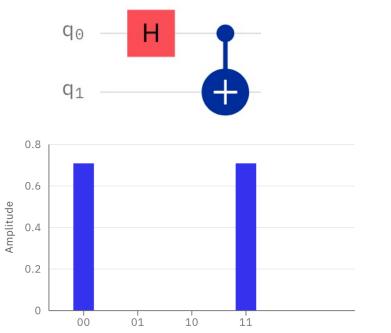
入力		出力	
目標 ビット	制御 ビット	目標 ビット	制御 ビット
0	0	0	0
1	0	1	0
0	1	1	1
1	1	0	1



量子重ね合わせ



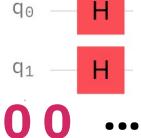
量子もつれ (エンタングルメント)

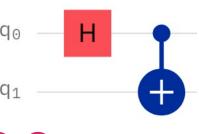


CNOTゲートは、 エンタングルメントを作ります。

量子重ね合わせ

量子もつれ (エンタングルメント)

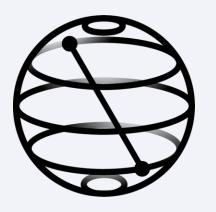




••• 25%



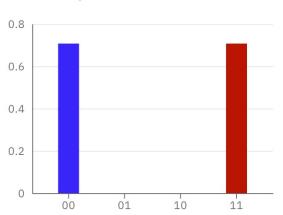




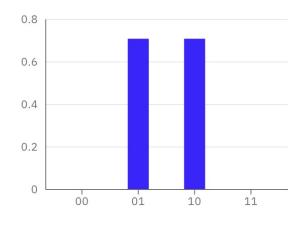
演習問題

2量子ビットのエンタングル状態を作ってみましょう。 答えは一つではないので、どんな作り方でもOKです。

(1)
$$rac{1}{\sqrt{2}}(\ket{00}-\ket{11})$$



(2)
$$rac{1}{\sqrt{2}}(\ket{01}+\ket{10})$$



(3)
$$\frac{1}{\sqrt{2}}(|01\rangle-|10\rangle)$$

